

船舶事故等調査報告書

平成27年4月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第105号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年11月25日 02時00分ごろ
発生場所	長崎県小値賀町小値賀島東岸の大根瀬 小値賀港島防波堤灯台から真方位058° 1.6海里付近 (概位 北緯33° 11.87' 東経129° 05.48')
事故等調査の経過	平成26年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 亀丸、4.6トン
船舶番号、船舶所有者等	NS3-500698（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船底に亀裂、かんぬきに折損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、小値賀島周辺で操業した後、強い南風が吹いていたので、平成26年11月24日20時ごろ小値賀島前方 <small>まえかた</small> 錨地内の大根瀬北方沖で錨泊した。 船長は、船首から投錨して錨索をかんぬき（木製）に係止した後、就寝した。 船長は、25日02時00分ごろ、衝撃を受けて目が覚め、船体等を確認したところ、錨索に係止していた箇所ではかんぬきが折れて錨索が外れており、本船が漂流して大根瀬に乗り揚げたことを知った。 船長は、近くにいた僚船に救助を求め、来援した僚船に移乗して小値賀島の船だまりに入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮汐 下げ潮の末期 小値賀町には、本事故当時、強風、波浪注意報が発表されており、風力2～4の風が吹いていた。
その他の事項	海図W223によれば、小値賀島東岸は、東方に開けた湾になっており、湾内に前方錨地がある。 船長は、ふだん、南風が吹くときには、いつも、前方錨地内の大根瀬北方沖で錨泊していた。 本船は、昭和56年6月の進水であった。
分析	
乗組員等の関与	なし
船体・機関等の関与	あり

<p>気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>本船は、大根瀬北方沖で錨泊中、錨索を係止していたかんぬきが折れたことから、錨索が外れ、漂流して大根瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船のかんぬきは、約33年間の使用により強度が低下し、風波により緊張した錨索によって、強度を超える荷重が掛かって折損した可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、大根瀬北方沖で錨泊中、錨索を係止していたかんぬきが折れたため、錨索が外れ、漂流して大根瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・錨索を係止する箇所は、強度が低下していないか、定期的に点検すること。</li> </ul>